

# ISHINO PRESS

いしのプレス・第21号

vol.21 2012.6



発行：ストーン プランニング・いしの（有限会社 石野石材工業所）〒680-0843 鳥取市南吉方1丁目110-2

0120-148-788

2012年6月発行（季刊紙・年4回発行）

今度、何かお願ひするときは  
「石野石材」にと決めていました。

【鳥取市 清水様】

うちのお墓は古い形式でお骨を入れるところが小さくて困っていました…。  
亡くなつたおじいさんもお墓を直したいと言つてた為、今回新しくすることにしました。

石野石材さんは以前花立のことでお世話になつたので、何か工事があれば石野と決めてお願ひしました。営業の大倉さんは話しやすい方で本当に良かつたです。

こちらの希望通りにしてもらいましたし、工期を守つてもらつたのが良かったですね。出来上がりを見た時には感激しました。

納骨所も広くなり、お墓も平坦な所に置くのではなく、新しく外柵を作つもらつたのでとても良くなりました。

親戚中に見せたいくらいです。

やっぱり石野石材さんだなと思いました。営業担当の名前を覚えましたから、今度は何かあつたら「大倉さんを」と言えます。

お客様インタビューアー

親切に、こまめに打ち合わせを行い、  
その甲斐あつて、  
満足のいくお墓ができました。

【米子市 塚田様】



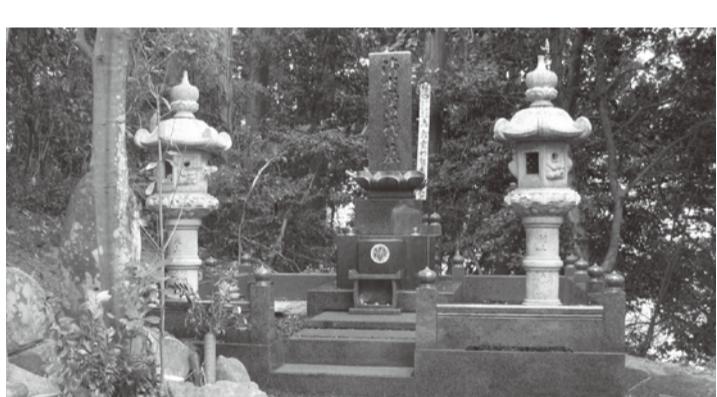
塚田さま

完成した塚田家のお墓



完成した清水家のお墓

清水さま



これが私の生き方であり、  
信じる道です。

開口一番！社長が口にされた言葉…。

「やつと俺の順番が回ってきたなあ」でした。  
すみません、第21号まで、お待たせしましたといつたところです。ということで、今回は弊社社長である平井義です（緊張します！）

職人として、鳥取でイチバンになつてやる！と思ひがむしやうに働き出したのが30年前のこと。社会からの信用もなく、新しいことをしたくとも、お金を借りるのもホントに困つた時代で、いつか見てろよ！と思つたものです。

その後、中国事務所開設時にも、中国語もろくに喋れないながらも、何度も中国・廈門に行き、ようやく事業スタート。これが大きな転機だったかもしれないと思います。その時に改めて実感したことが「信義」でした。人間、信じること、信じ合えれば、どんなことでも達成できるのだとほんと心の底からそう感じましたね…。

今、リラクゼーションをはじめ、防滑事業、そして、仏壇事業へと展開し、社員数は36名となつた。自分の神體もある「人間味」という部分において少し寂しい時もあるが、それを少しでも埋めれるように一生懸命がんばつてしまふ！ただ、様々な転機において、自分自身ほんとに幸せだと思えるぐらい「出会い」があった。その人との出会い、ビジネスとの出会いを大切に、今後も社員のみんなと、達成感や幸福感を味わつていきたいと思います。

まだまだこの先やりたいことややつてみたいことは頭の中でいつも渦巻いており、それを考えると楽しくて仕方ないよ、時間がいくらあってもホントに足りない気がしますよ！

最後に、この季刊紙も多くの皆様に支えられ、第21号を迎えることができたことに心より感謝申し上げます。今後とも私たちを暖かく見守つてください。

平井義  
Yoshikazu HIRAI

有限会社 石野石材工業所  
代表取締役社長



若かりし頃の「平井社長」  
2003年2月5日撮影（約10年前）

ひ・と・じ・ご・と

いよいよ、弊社の平井社長が季刊紙に初登場となりました。  
普段、お話を聞いていますが、改めてインタビューとなると緊張しますね。社長の思いを聞くことができ、良い経験になりました。

また、季刊紙に使う、昔の写真を探していると、私の知らない頃の石野石材の日常が沢山見れてとても楽しかったです。なかには「あの人…？昔はこんなに瘦せていたのね…」と思つような写真もたくさんありました（笑）  
第22号からのいしのプレスは、少し様変わりして登場する予定です。

